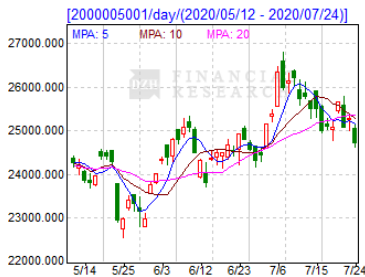


中国株ウィークリーレポート

2020/7/27

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	26,469.89	-182.44	-0.68	-0.76	-7.25	28,538.44
NASDAQ	10,363.18	-98.24	-0.94	-1.33	15.50	8,972.60
日経225	22,751.61	-132.61	-0.58	0.24	-3.83	23,656.62
上海総合	3,196.77	-128.34	-3.86	-0.54	4.81	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,505.59	-206.84	-4.39	-0.86	9.98	4,096.58
ハンセン	24,705.33	-557.67	-2.21	-1.53	-12.36	28,189.75
中国企業	10,080.86	-244.39	-2.37	-1.20	-9.73	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.5%安と続落、上海総合指数は0.5%安

香港市場ではハンセン指数が1.5%安と続落。20日は新型コロナの感染拡大を嫌気して下落スタートとなったが、翌21日は新指数の発表を好感してニューエコノミー銘柄を中心に2%超の上昇。ただ、その後は米国がヒューストンの中国総領事館の閉鎖を要求したことで地合いが急速に悪化。米中の緊張感が高まり、リスク回避の売りが広がった。本土市場では上海総合指数が週間で0.5%安と続落。週前半は22日まで4日続伸と買い戻し優勢の展開だったが、週後半は米中関係の悪化を嫌気して売りが膨らんだ。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、米中関係悪化でリスク回避の動きも

香港市場は一進一退の展開か。ハンセン指数は先週の25000ポイント割れでリバウンドも入りやすいが、今週も米中関係を巡って悪材料が出てきやすい状況が続いており、リスク回避の売りが相場の重しとなりそう。香港で新型コロナの感染が再拡大していることも懸念材料の一つ。一方、ハンセン科技指数の公表開始でニューエコノミー関連銘柄に買いが入れば相場を支える展開もあり得る。本土市場も今週は米中関係の悪化で神経質な展開が予想される。31日発表の製造業PMIが予想を上回るかどうかにも注目が集まる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	57.45	9.01
2 トロフィケ (00857)	2.86	7.92
3 舜宇光学科技 (02382)	138.10	6.31
4 シノベック (00386)	3.45	4.86
5 香港証券取引所 (00388)	360.40	3.92
6 テンセント (00700)	528.00	1.34
7 恒隆地産 (00101)	19.02	0.85
8 恒安国際集団 (01044)	66.95	0.15
9 中国人寿保険 (02628)	18.00	-0.11
10 吉利汽車 (00175)	15.88	-0.13

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 九龍倉置業地産 (01997)	28.00	-13.58
2 銀河娛樂 (00027)	50.05	-8.67
3 サンス・ファイナ (01928)	29.25	-8.02
4 万洲国際 (00288)	6.79	-7.74
5 中国中信 (00267)	7.30	-5.44
6 太古A (00019)	38.10	-5.11
7 中国銀行 (03988)	2.64	-4.69
8 ファイナ・コム (00762)	4.33	-4.42
9 新鴻基地産 (00016)	92.45	-4.35
10 申洲国際集団 (02313)	91.00	-4.26

▼今週の主なイベント

- 7月28日(火)
- 【米国】FOMC(~29日)
- 7月31日(金)
- 【中国】製造業PMI(7月)

▼今週の期待材料

- ◆27日からハンセン科技指数の公表開始、ニューエコノミー銘柄を中心に買いが入る可能性も
- ◆31日に中国国家統計局が7月の製造業PMIを発表、市場予想を上回る強い内容なら景気回復期待が高まる公算
- ◆新型コロナのワクチン開発が進展、良好な臨床結果が出てくれば相場の支援材料に

▼今週の懸念材料

- ◆米国がヒューストンの中国総領事館を閉鎖、中国も対抗措置として成都の米国総領事館閉鎖を通知
- ◆ポンペオ米務長官が中国への対決姿勢を鮮明化、各国に中国の脅威に対抗するための連携を呼びかけ
- ◆香港で新型コロナの新規感染者が連日で100人超、景気回復への期待が後退する公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ ファースト・トラクター (00038) : 20年6月中間決算は純利益14-20倍の見通し
- ☆ 昆侖能源 (00135) : パイプライン資産の譲渡で国家石油天然気管網集団と協議
- ☆ 中国中鉄 (00390) : 大型インフラ建設プロジェクト21件を受注、総額267億元
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 1-6月の新規受注額が22%増加、建設部門は25%増
- ☆ アリババ集団 (09988) : 27日から「香港版ナスダック指数」の公表開始
- ☆ 中国建材 (03323) : セメント資産の売却を計画、グループ内の競合解消
- ★ 裕元工業 (00551) : 20年6月中間決算は赤字転落の見通し、最大1.6億米ドル
- ★ 北京首都国際機場 (00694) : 20年6月中間決算は最大8.1億元の赤字計上の見通し
- ★ テンセント (00700) : インドで微信「Wechat」のサービス停止、中印対立が影響
- ★ ジョルダノ (00709) : 20年6月中間決算は新型コロナの影響で赤字転落の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。